

令和4年度 清瀬市立清瀬中学校 学校経営方針

校長 佐藤 明子



学校教育目標

人間尊重を基本理念に、国際的な視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして

- ◎ 正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる
- 健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる
- 高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生徒・教職員の安全・安心を構築することを最重要課題として取り組むとともに、第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン基本構想・実行計画（「子供が育つ 市民が育つ まちもろだつ 清瀬の教育」）や持続可能な社会づくりに向けた教育の確実な推進を図るため、以下の目指す学校像及び具体的な方策を実行し、様々な場面において一人1台タブレット端末を活用しながら、学校教育目標の具現化を通して、未来社会にも通用する「人」としての資質・能力を育ててまいります。

I 目指す学校像：「魅力」・「活力」・「信頼」

1 魅力ある学校

分かる・できたと実感できる授業をはじめとした魅力ある教育活動を進めていきます。

2 活力のある学校

生徒が自分の力を十分に発揮し、生き生きと活力のある学校生活が送れるようにしていきます。

3 信頼される学校

家庭・地域との連携を強化し、生徒・保護者・市民から信頼される学校を創ることを進めていきます。

II 目指す生徒像

- 自他の生命や人権を大切に、思いやりのある行動ができる生徒
- 進んで学び、仲間と協働して深め、その学びを生かした豊かな表現ができる生徒

III 教育に臨む基本姿勢～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～：「よさ」と「可能性」

生徒一人一人の「よさ」を認め、「可能性」を引き出す指導を心掛け、生徒の自己有用感を高めていきます。

- 学校の新しい生活様式への対応
- 令和の日本型学校教育の構築（個別最適な学びと協働的な学びの実現）

1 学習指導＜家庭と連携・協力し、基礎・基本を大切に確かな学力を育成する＞

- ① 生徒が主体性を発揮し、体験と事実や根拠に基づいた話し合いを通して問題を解決する学習へ改善を図り、自らの学びを振り返る力を育成する。
- ② 学習のねらいを明確にした計画的で見通しのある指導を行い、達成度を形成的に評価し、指導改善を図る。
- ③ 生徒の実態に応じた、丁寧な、根気強い指導の継続的实施により、基礎的・基本的事項の習得を徹底する。
- ④ タブレットなどのICT機器を積極的に活用し、生徒の興味関心を引き出すとともに、多様な学習を展開する。
- ⑤ 仲間と体を動かす楽しさを味わうことができる教育活動を展開し、体力の向上を目指す生徒を育てる。

2 生活指導・進路指導＜言語環境を整え、自他を大切に豊かな心と人間関係を培う＞

- ① 自分も仲間も大切にすることを育成するとともに、共感的な人間関係を育み、自己決定の場を豊かにもって自己肯定感・自己有用感を高めながら、自己実現を図っていける望ましい人間関係を形成する。

- ② 人権意識を培うとともに、教育相談を生かし児童心理に基づいた指導を行う。
- ③ 1組との交流および共同学習を積極的に行うことを通じて、特別支援教育の理解を充実させる。
- ④ 生徒に生活の見通しをもたせ、基本的な生活習慣の確立や集団における規範意識の確立を図る。
- ⑤ いじめや問題行動の早期発見に努め、校内いじめ防止対策委員会を通して教職員が協働して問題に対処することを大切にし、家庭や関係機関との連携を密にして、組織的な対応を徹底して早期解決する。
- ⑥ 不登校の生徒も含め、生徒一人一人にとって、安全で安心して生活できる居場所を創出する。
- ⑦ 地震や火災、不審者等への危機意識をもち、安全な避難の徹底を図るとともに、生徒自らが自分で自分の身を守る意識をはぐむよう安全教育を充実する。

3 学校運営く保護者、地域とともに子供を育て、信頼される教育を推進する>

- ① 学校経営への参画意識をもち、連絡・相談を通して組織として課題や問題に取り組む。教職員は、丁寧かつ迅速に問題に対処する。
- ② 各担当、担任が、便りやホームページで学校の教育活動を家庭や地域に積極的に伝える発信者となるとともに、生徒や保護者からの関係者評価を受け止め、改善することはすぐに直し、説明すべきことは説明する。
- ③ 地域の教育力を学校教育に生かすとともに、学校・保護者・地域がそれぞれのよさを発揮できる三位一体となった教育活動を展開する。
- ④ PDSAサイクルを大切にして、実践後すぐに次回の改善計画を立案するとともに、コスト意識をもって効率的な運用をする。
- ⑤ 清潔かつ安全で使いやすい施設・設備となるよう、日常の点検、改善を行い、教育環境を適切に整える。

4 特別活動・その他く生徒の主体性を発揮させ、社会性や実践力を高め、達成感をもたせる>

- ① 年間計画に基づき、生徒の主体性や社会性を発揮する学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等を行い、折々に適切に評価する。自発的な活動と当番活動を区別して、生徒の自発的活動の工夫を引き出す。
- ② 活動前に生徒に活動の目標を意識させ、活動後には振り返り、達成感を味わわせる。

5 研究・研修く教育公務員として、自らの資質の向上を図り、学校の教育力を高める>

- ① 都・市、研究団体主催の研修等に積極的に参加し、学んだ成果を教育活動に生かす。
- ② 小学校との連携と学びの連続性を大切にして、生徒の発達段階に沿った効果的な指導を行う。
- ③ 効率よく職務を行い、自らの健康管理と家庭を大切にす社会人を自覚し、教職との両立を心掛ける。

IV 求められる教職員像

生徒の「よさ」と「可能性」を伸ばす集団として、以下の内容を職務遂行してまいります。

▶法の遵守とサービスの厳正

法令及び学習指導要領等に基づき、公平・公正な教育活動を実行する。

▶プロとしての自覚と使命感

高い指導技術と弛まぬ研鑽、人間性あふれる温かな心をもって職務に当たる。

ものごとを進める際には、優先順位は「生徒への影響度」で考え「どうしたら実現できるのか」の視点に立ち、課題解決する。

▶公務員としての社会性・協調性・コミュニケーション能力

相談しやすい環境の整備と、声掛けを全員で行う。困った情報こそ、担任、学年、教科等で留めず、報連相を積極的に行い、組織一体で解決する。